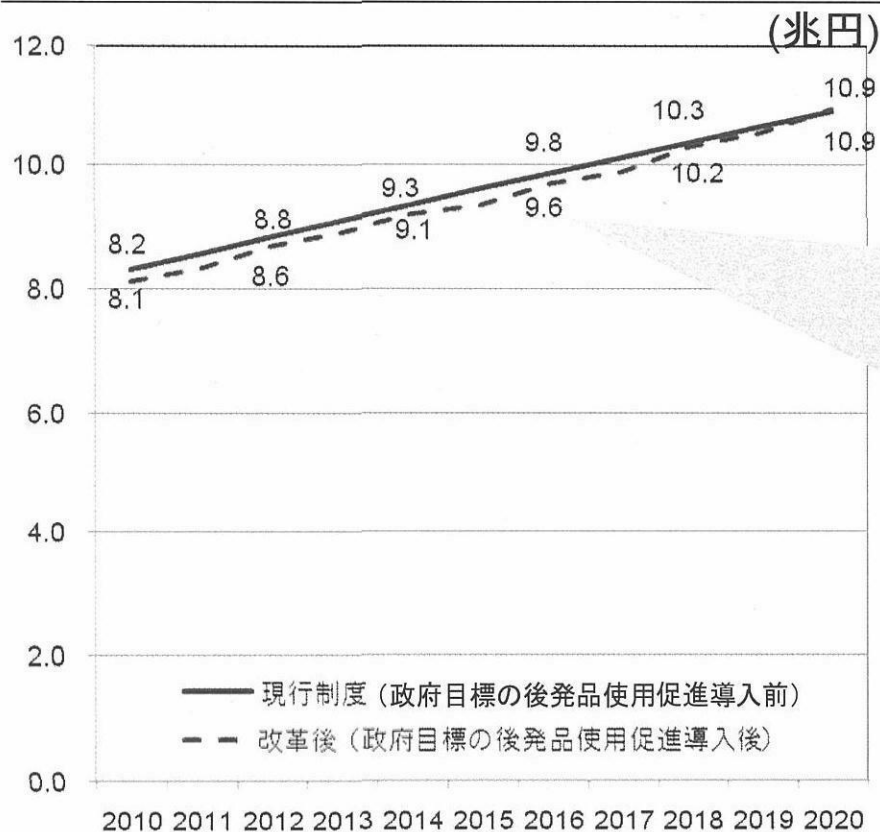


市場への影響

政府目標の後発医薬品使用促進が導入される前の状況で市場は2010年に8.2兆円、2020年には10.9兆円となることを前提に、制度改革によって、市場全体にどのような影響があるかを試算した。後発品使用促進を併せて進めることによって、左下図のように、市場はこの範囲内に留まるものと推測される。

また、右下図には各年度の後発品使用促進による減少分（＝長期収載品の減少＋後発品の増加）と新薬の増加分を示した。2010－2020年の累積で見ると、新薬の評価改善（維持分含む）分として3.3兆円増加するが、後発品使用促進により5.0兆円が減少（長期収載品の減11.0兆円、後発品の増6.0兆円）が見込まれるため、差し引き1.7兆円の縮小（△1.6%）と推計される。（試算の前提条件については、末尾の別紙参照）

制度改革による市場規模推移予測(全薬剤市場)



内訳

